

# 英語を本気で強みにする!

## ～日本の学校の取り組み～

2024年度版

経済産業省では「産学連携によるグローバル人材育成推進会議」が2011年に発足して以来、グローバル人材育成を進めています。この「グローバル人材」は、専門性や異なる言語、コミュニケーション能力などを兼ね備えた人材として定義しています。教育現場では、大学の国際化や小学校からの英語教科導入、高校生の留学推進などに取り組んでいるものの、日本の英語力ランキングは、113か国中87位と下位にあります。グローバル人材の必須要件と言える英語力の育成は、海外在住経験のあるご家族にとって、学校選択の一層重要な要素になってきています。

Springでは、海外生を積極的に受け入れている学校の「英語を本気で強みにする」取り組みについて、ご紹介します。特集の後半では、実際に英語を強みにした帰国生が現在、どのように英語を生かして活躍されているのかをSpring編集部が伺いました。ぜひご覧ください。

※2023年版EF EPI英語能力指数の全113の国・地域より



「英語を本気で強みにする」特集・バイリンガル教育特集はこちら <https://spring-js.com/>

グローバル教育

バイリンガル・英語教育

### 各校の取り組みについて伺いました。



#### 参加校(50音順)

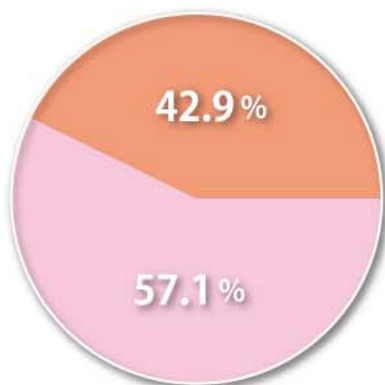
関東学院六浦中学校・高等学校  
 佼成学園中学校・高等学校  
 国際基督教大学高等学校  
 静岡聖光学院中学校・高等学校  
 昭和女子大学附属昭和中学校  
 白百合学園中学高等学校  
 聖心女子学院(セカンドステージ:初等科5年～)  
 清泉女学院中学高等学校  
 田園調布学園中等部・高等部  
 東京女学館中学校・高等学校  
 文化学園大学杉並中学高等学校

#### Q1 「帰国生対象の取り出し授業」の一番上のクラスのレベルを教えてください。

多くの学校で実用英語検定が使用され、中学・高等学校ともに約6割の学校が英検準1級以上の学力を目安としているようです。

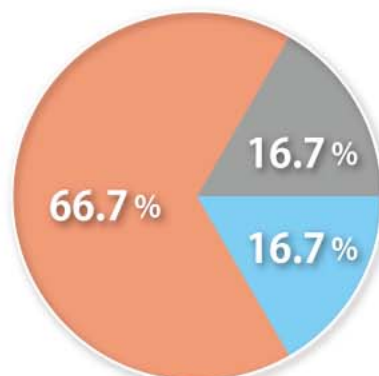
#### 中学校

- 英検1級程度
- 英検準1級程度
- 英検2級程度
- 英検準2級程度
- 英検3級程度
- 学内独自の基準
- 英検以外の基準



#### 高等学校

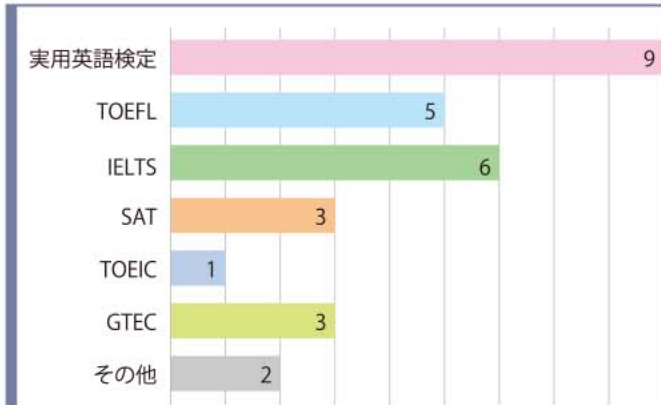
- 英検1級程度
- 英検準1級程度
- 英検2級程度
- 英検準2級程度
- 学内独自の基準
- 英検以外の基準





## Q2 英語についてどのような外部試験の対策をしていますか。

実用英語検定を筆頭に、海外大学に必要な外部英語試験の対策も実施しています。



### 主な外部英語試験

| 英検    | 実用英語技能検定                                      | 大学・高校などで英語入試の免除や加点対象などとなることある。海外留学の語学力証明として認定する学校も。              |
|-------|---|--|
| TOEFL | Test of English as a Foreign Language         | 大学入試、大学入学後の英語力測定などに用いられることがある。得点により単位の付与、交換留学生の選抜基準として利用することもある。 |
| SAT   | Scholastic Assessment Test                    | アメリカの大学が志願者に受験を要求する共通テスト。日本の大学の入学試験の一部として使用されることもある。             |
| IELTS | International English Language Testing System | イギリス、カナダ、オーストラリアを中心に海外大学への出願基準として広く認められている。                      |
| TOEIC | Test Of English International Communication   | 大学入試、大学入学後の英語力測定などに用いられることがある。得点により単位が付与されることもある。                |
| GTEC  | Global Test of English Communication          | 日本発。英語4技能を測定する。国内大学で英語入試の免除や加点対象、出願基準となることある。海外大学でも使用可。          |

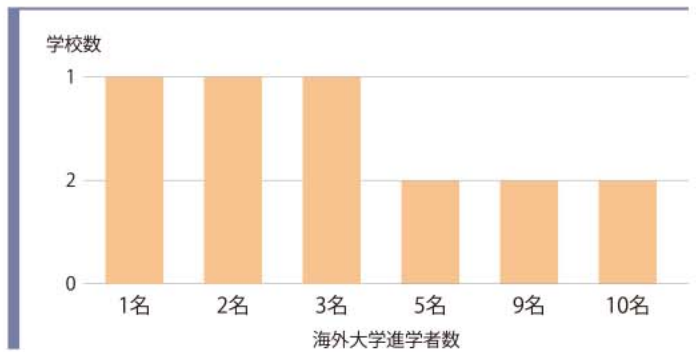
## Q3 英語で活動するクラブや部活動、委員会にはどのようなものがありますか。

模擬国連やディベートなど、英語での発信力をつける課外活動が盛んなようです。



## Q4 2023年度の海外大学進学者数を教えてください。

英語学習の取り組みに力を入れている各校では、年々海外大学への進学者が増加傾向にあるようです。日本と海外とで、目指す大学別に選択する授業がある学校もあり、今後はますます増加の一途を辿るでしょう。



## Q5 日本人学校生へのアドバイスをお願いします。

### 関東学院六浦中学校・高等学校

学校から直ぐ近くに、一人一部屋の寮があります。閉寮期間はありませんので、年間を通して在寮可能なので、保護者様が海外在住でも安心して学校生活を送ることが出来ます。

### 佼成学園中学校・高等学校

建学の精神に基づき皆さんの経験を生かすことができるさまざまなプログラムを用意しています。多様な価値観や文化に触れ、寛容な心を育みながら、将来のグローバルリーダーとして活躍できるよう支えていきます。

### 国際基督教大学高等学校

授業にしっかり取り組むことはもちろん、生活で触れる英語の意味を調べたり、感じたことを英語で表現することを意識してみてください。英語を「教科」として身構えず、生活の中に取り込んで慣れていくことが大切です。

### 静岡聖光学院中学校・高等学校

英語以外の授業では、日本語で授業を行っています。日本語講師による個別指導を受けることができますが、ある程度の日本語力を必要とします。



### 昭和女子大学附属昭和中学校

本校は「面倒見がよい」と言われています。帰国生に限らず、放課後や長期休暇を利用して指名制や希望制の補習を行っています。補習についてはこちらから声をかけることもありますので、安心してください。

### 聖心女子学院

日本人学校の生徒を歓迎しています。本校は取り出し授業をしない＝日本人としての常識があることを期待しています。日本語力があって初めて真のバイリンガルだと考えていません。自信を持って本校を目指してください。

### 清泉女学院中学高等学校

英語の先生からのアドバイスです。「現地では体験できないことを積極的に味わってください。その体験は唯一無二です!」

### 田園調布学園中等部・高等部

田園調布学園の帰国生入試は国語・算数でも受験可能です。日本とは違った環境での生活体験はとても貴重なものだと思います。現地で生活したからこそその思考を大切に、中高で活躍してほしいと願っています。

### 東京女学館中学校・高等学校

母国語の力は物ごとを考える基盤としても英語力の伸長にも欠かせないものです。学校では日本語力を養うとともに、滞在国での日常生活の中で経験することを大事にしてください。

### 文化学園大学杉並中学高等学校

本校は日本とカナダの2つのカリキュラムが学べる学校です。日本の教育課程を学んでいる生徒はその土台をしっかりと生かしつつ自分の英語力をさらに伸ばすことができる環境が整っています。

## Q6 現地校生・インターナショナルスクール生へのアドバイスをお願いします。

### 関東学院六浦中学校・高等学校

高校1年時よりGLE(Global Learning through English) クラスを設置しています。このクラスは英検準2級以上に合格していることが入学条件となっているため、クラス内では英語は勿論、中国語やタイ語で会話をする生徒も数多くいます。

### 国際基督教大学高等学校

現地での経験を大切にしてください。現地に溶け込むほど帰国後日本の生活に違和感を感じるかも知れません。しかしその感覚こそが財産となります。その国ならではの文化を思い切り感じながら生活してください。

### 静岡聖光学院中学校・高等学校

IGCSEやA levelなどのインターナショナルコースがオンラインで受講できます。海外交流プログラムが充実しグローバルリーダーとして活躍する機会が多いため、国内・海外の両方の大学を視野に入れながら学習できます。

### 昭和女子大学附属昭和中学校

貴重な海外での生活を通して、積極的にその国の文化に触れ、ものの考え方の違いを体感してきてください。海外では、不慣れで苦しく辛いこともあるかもしれませんが、その経験は、長い人生で必ずプラスになります。

### 聖心女子学院

英語は話す中身が伴って初めて話すことができます。帰国生は、周りの意見も聞きつつ自分の意見を理解して貰うコツを心得ていると思います。そのような姿をぜひ、本校の生徒にも見せて大いに刺激してください。

### 清泉女学院中学高等学校

インターナショナルスクール出身の先生からのアドバイスです「当時、学校から帰って、漢字ドリルを渋々やっていましたが、日本に帰ってきて役に立ちました。」

### 田園調布学園中等部・高等部

英語力をさらに伸ばすために、中1～高2で英語の取り出し授業を実施しています。ネイティブ教員による少人数授業で、海外大学進学を見据えIELTS対策も行っています。帰国生入試では資格による得点換算もあります。

### 東京女学館中学校・高等学校

現地校ならではの貴重な学校生活を思い切り楽しみ、日本とは異なる価値観に触れて得るものや感じるものを大切に、大いに吸収してきてください。

### 文化学園大学杉並中学高等学校

本校の「カナダカリキュラム」はインターナショナルスクールのような雰囲気です。卒業時には英語圏の卒業資格も取得でき、「海外生枠」「帰国生枠」で受験できます。海外大学にもスムーズに進学できる環境があります。

次ページからは、実際に英語を強みにした帰国生が現在、どのように英語を生かして活躍されているのかをSpring編集部が伺いました。後半では、各校が行う魅力的な取り組みの一部をご紹介します。



## 幼少期を海外で過ごし、現在さまざまな分野で活躍する 先輩方のストーリーをご紹介します。



過去のストーリーはこちら

### Story

公益財団法人 日本ゴルフ協会

#### 木村 有花 さん

##### 【プロフィール】

慶應義塾ニューヨーク学院高等学校、  
慶應義塾大学を経て現職



#### 「英語が強みとなっている」と感じますか？

##### ～仕事の幅が格段に広がる～

職場では英語を生かして、資料作成や翻訳作業、海外との窓口業務、試合に出場する海外選手の日本でのアテンドなどを担当しています。昨年、JOC(日本オリンピック協会)国際人養成アカデミーを受講する機会がありました。各スポーツ界からの参加者と協力し、知識を深める経験はとても素晴らしいものでした。これらの経験や現在担当している業務は、英語を身につけていなければ任されることのない仕事です。英語を習得したことで、私の仕事の幅は格段に広がりました。今後は海外で開催される試合に携わることができる人材になりたいと考えています。

#### 英語を習得するまでに、 どのような努力をしましたか？

##### ～現地の友だちとの交流が助けに～

英語を身につけることができた大きな要因は、アメリカでの生活環境とクラスの友だちのおかげだと思います。私が通った現地校は、日本人が一人も在籍していませんでした。英語の補習クラス(English as Second Language)もなく、英語を話すことができない生徒は私だけでした。そのような環境でしたが、たくさんの方々がプライベートや誕生日会、お泊まり会などに声をかけてくれたためすぐに周囲と馴染むことができました。「英語が話せなくても遊べるね!」とみんなが受け入れてくれ、気がつけばいつの間にか英語を話せるようになっていました。現地の友だちとの交流の機会を大切にしてくれた両親には今でも感謝しています。

#### 海外在住のご家族に、 アドバイスをお願いします。

##### ～家族で過ごす時間を大切に～

海外での学校選びには、なるべく日本人の在籍者が少ない学校を選ぶことをおすすめします。日本人がいる環境は安心である一方、「楽」でもありません。海外で生活することは不安も多く、心細く思うこともあります。勇気を持って新しい生活に飛び込んでください。そして家族で過ごす時間を大切にしたいです。日本と異なり、お子さまが一人で外出することが制限されている国もあると思います。私が過ごしたアメリカでは、留守番ができる年齢は13歳以上だったので、外出する際はいつも家族が一緒でした。振り返ってみると、海外で「家族と一緒に過ごした時間」は本当にかけがえのないものです。現在、海外に在住されているご家族には、「家族で過ごす時間を大切に、そして強い絆を結んでください」とお伝えしたいです。

### Story

神戸市立医療センター 臨床研修医

#### 渡辺 啓太 さん

##### 【プロフィール】

日本生まれ。9～14歳までニューヨークの現地校に通学。帰国後は渋谷教育学園幕張中学校、同高等学校を経て、国立大学医学部医学科入学。6年間医学を学び医師免許取得。現在は神戸市立医療センターにて臨床研修医として、救急対応・初期治療などを中心に勤務。



#### 「英語が強みとなっている」と感じますか？

##### ～医学の分野でも英語力は必須～

医療分野のみならず、大学や国の研究機関の公用語は英語です。最新の研究をもとに治療を選択しなければならない医学の世界では、英語力は特に必要最低限のスキルだと感じます。薬物治療を行う内科、術式を選択する外科でも毎年、常識がひっくり返るような学術論文が多く発表されます。ひと昔前に行われていた治療が、実は患者にとって有害であったというようなことは往々にしてあります。そのため、正しい医療を行うためには英語を身につけることが必要不可欠です。また、学術論文を執筆する際にも英語を習得しておく必要があります。

英語を強みにすることで、将来の選択肢は増えると思います。例えば、米国の医師免許を取得して海外で働いたり、基礎研究のために海外留学することも可能になるからです。

#### 英語を習得するまでに、 どのような努力をしましたか？

##### ～伝えようとする努力と経験が大切～

ニューヨーク現地校での生活は、慣れるまでに時間がかかりました。特にクラスの友だちとコミュニケーションがとれず苦労していましたが、ある時、勇気を出して自分から話しかけたことでサッカーに混ぜてもらうことができました。そこから身振り手振りで友だちを作り、拙く間違った英語でも臆さず話すことで少しずつ会話ができるようになりました。笑われたり、大失敗したりすることもありましたが、伝えようとする努力と経験が大切です。その過程を経て正しい英語を話せるようになっていくと思います。テレビを見る際は、アニメではなく実写のディズニースチャンネルを見ることをおすすめします。学校を舞台にした作品も多く、簡単な英語で実用的な言い回しが学べるのでためになりました。

#### 海外在住のご家族に、 アドバイスをお願いします。

##### ～英語だけでなく別のスキルも～

お子さまが英語を習得することで高校・大学受験、就職活動においてはアドバンテージを得ることができるでしょう。しかし、英語さえできれば良いという時代は終わりを迎えていると感じます。語学に加えて、別のスキルをいかに伸ばすかがこれからの時代は重要です。私の場合は、英語で浮いた勉強時間を理系科目に回したことで、昨春ついに医師としての一歩を踏み出すことができました。私にとっての海外移住は、最初は大変で苦労しましたが、あの5年間がなければ今の自分はいなかったと思います。海外経験をさせてくれた両親には感謝しています。日頃からお子さまの話をよく聞き、求められたときにはいつでもサポートする親御さんの姿勢が、お子さまの健やかな成長と自我形成につながると感じます。